



HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 平成27年9月30日発行



▲関東大会への出場を決めた水泳部員たち

関東大会での活躍を誓う生徒たち▶

▼全国総合体育大会、全国大会への出場を決めた生徒たち



平成27年

9/30

第51号

○「フルス・ウルトラの精神」 学校長 岡部 宣男	2ページ
○平成28年度入試要項	3ページ
○関東大会	4~5ページ
○インターハイ・全国大会・総文祭	6~7ページ
○本校舎トピックス	8ページ
○富田キャンバストピックス	9ページ
○SSH活動報告	10ページ
○白鷗大学だより	11ページ
○PTAだより・他	12ページ



プルス・ウルトラの精神

白鷗大学足利高等学校長 岡部 宣男

創立100周年記念事業の一つである本校舎の新校舎建て替えも今年の2月に竣工となり、新年度は新校舎（本館）での幕開けとなりました。

本館は、鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）、延床面積8808㎡、地上9階建ての建物です。北の山並みに抱かれ、南には渡良瀬川がゆるやかな流れをたたえる足利の中央に位置する本校。薄いページジュを基調として、ポイントには旧校舎のレンガを連想させる赤茶色を使用した新校舎のシンブルな外観は、足利の新ランドマークとしてふさわしいたはずまいを有しています。1階には校長室、進路指導室、事務室、会議室、校史室、2・3階と5・6階には普通教室や視聴覚室、多目的教室があります。この生徒フロアをはさんで4階には職員室、保健室、カウンセリングルーム、面談室、デジタル機器を完備したテレビスタジオ（放送室）などがあります。7・8階には音楽室とコンピュータ室、9階は約150人収容可能な大会議室となっていて、講演会なども行える設備が整っています。各教室の机と椅子は白色に統一され、落ち着いた雰囲気と、清潔感があります。また、本館各階の床の色には校章にちなんだストリーが隠されています。生徒フロアは五大大陸の大地、教職員フロア

は三大洋の海、最上階は生徒たちが羽ばたいていく空の色をそれぞれ表現しています。そして各フロアに3か所（7・9階は2か所）



新校舎外観

ある階段室の防火扉は、それぞれ五大大陸の緑、三大洋の青、空に向かう情熱の赤で塗り分けられおり、万一の災害時には確実に避難経路をたどることができるような工夫もなされています。

3月末に完成した新体育館は、鉄筋コンクリートと鉄骨造の混構造の地上3階建てです。1階には柔道場、剣道場、ボクシング場、卓球場などを有した道場フロアとシャワー室。2階がアリーナで、暖房、放送設備は最新のものが完備されています。入学式・卒業式などの式典を初めとして、さまざまな活用方法が期待できます。3階には、高弾性衝撃吸収シートを床材として使用したランニングコースとトレーニングルームがあ

り、白鷗アスリートたちの若き力がみなぎる活気あふれる施設となることが期待されます。

6月には、旧4号館が別館として改修され、特別教室および食堂棟として生まれ変わりました。吹き抜けの1階には大食堂が完備され、明るい自然光のもとでリラックスして食事ができるようになっていきます。2階には図書室、自学自習室、文化部室、生徒会室。3階以上は特別教室（理科室、被服室、調理実習室、ライフルーム、看護福祉室、美術室、コンピュータ室）が配置され、それぞれに最新設備が備わっています。



新体育館での入学式

生徒の皆さんには、これらの新しい施設を有効に活用して、学習活動や部活動・生徒会活動・委員会活動などに、これまで以上に積極的に取り組む、充実した高校生生活を過ごして欲しいと願っています。

本校は、大正4年（1915

年）4月、足利裁縫女学校として、生徒17名と教師1名で始まりました。大正、昭和の激動の時代、戦後の社会的価値観が根本から変わった時代にも一貫して、建学の精神である「社会に役立つ人間」を育成すべく教育を行ってきました。今、社会では、激しい変化と人々の価値観の多様化が進み、学校教育も大きく変わろうとしており、自然も人知の及ばぬ力をもって、自然災害を引き起こし、人々の心を震撼させています。

皆さんは、本校の先人が激動の時代を強い信念で突き進んだように、変化の激しいこの時代を自らの判断力と決断力に基づいて、力強く、したたかに、遅く生きているかねばなりません。その源となるのは、知と心です。知とは知識・知恵、心とは他者を思いやることができる心、社会の事を考えることができる心、感謝することのできる心、一人ひとりの心でありようです。高校生の本分は学びです。しっかりと学んで知識を蓄え、部活動や学校行事、SSH活動などさまざまな体験や友達、先生とのかかわりを通して、心を培ってください。

校舎と体育館が新たな装いになったことを契機に、私たちも自らを再構築しなければなりません。「プルス・ウルトラ」の精神で一歩踏み出しましょう。

入試相談会 (中学校3年生と保護者対象)

	本校舎	富田キャンパス	埼玉会場
期日	11月7日(土) 11月14日(土) 11月29日(日)	11月3日(火) 11月29日(日)	10月21日(水) 市民プラザかぞ 午後5時～午後8時 10月29日(木) ワークヒルズ羽生 午後5時～午後8時 11月13日(金) 市民プラザかぞ 午後5時～午後8時 11月22日(日) ワークヒルズ羽生 午前10時～午後3時 11月23日(月) 市民プラザかぞ 午前10時～午後3時
時間	午前9時～午後0時30分	午前9時～午後0時30分	

※本校の入試に関する質問に応じますので、ご都合のよい日においでください。事前のお申し込みは不要です。この件についてのお問い合わせは各校舎に連絡するかEメールでお願いします。

平成28年度入試要項が下記のように決まりました。詳細につきましては本校ホームページにアクセスしていただくか、直接お問い合わせください。

なお、今年度も左記の通り入試相談会を実施します。お気軽にご来校ください。

平成28年度
入試要項決まる

平成28年度入試要項

試験別	コース(入学校舎)	試験日	試験教科	出願期間	合格発表
学業特待生入試 (併願)	特別選抜コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の全コースから選択して入学手続きができます。	平成28年 1月5日(火)	国・社・数・理・英	平成27年 12月4日(金)～14日(月) (土曜・日曜は除く)	平成28年 1月8日(金)
特別選抜コース入試 (単願)	特別選抜コース (富田キャンパス) 第1回入試の不合格者については、試験の得点により学業特待生入試に換算して判定します。	平成28年 1月5日(火)	国・社・数・理・英 面接	平成27年 12月4日(金)～14日(月) (土曜・日曜は除く)	平成28年 1月8日(金)
		平成28年 1月23日(土)		平成28年 1月12日(火)～20日(水) (土曜・日曜は除く)	平成28年 1月28日(木)
運動部・文化部 特待生入試 (単願)	文理進学コース(本校舎) 普通コース(本校舎) 商業コース(本校舎) 総合選択コース(本校舎)	平成28年 1月16日(土)	国・英・実技 面接(保護者同伴)	平成27年 12月4日(金)～14日(月) (土曜・日曜は除く) 平成28年 1月12日(火)～14日(木)	平成28年 1月19日(火)
単願推薦入試	進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 普通コース(本校舎) 商業コース(本校舎) 総合選択コース(本校舎)	平成28年 1月16日(土)	国・数・英・面接	平成27年 12月4日(金)～14日(月) (土曜・日曜は除く) 平成28年 1月12日(火)～14日(木)	平成28年 1月19日(火)
学特ランクアップ 入試 (併願)	特別選抜コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の全コースから選択して入学手続きができます。	平成28年 1月23日(土)	国・数・英	平成28年 1月12日(火)～20日(水) (土曜・日曜は除く)	平成28年 1月28日(木)
一般入試 (併願)	進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 普通コース(本校舎) 商業コース(本校舎) 総合選択コース(本校舎)	平成28年 1月23日(土)	国・数・英・面接	平成28年 1月12日(火)～20日(水) (土曜・日曜は除く)	平成28年 1月28日(木)
		平成28年 2月24日(水)		平成28年 2月15日(月)～23日(火) (土曜・日曜は除く)	平成28年 2月26日(金)

一日体験学習に
生徒2874名
保護者1606名
が来校しました

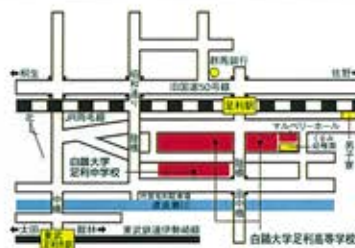
8月29日(栃木県外の方)
30日(栃木県内の方)
〈於 本校舎・富田校舎〉



白鷲大学足利高等学校富田キャンパス

- JR富田駅より徒歩3分
- 富田キャンパスへは東武伊勢崎線足利駅・豊林駅・太田駅および尾島方面より登下校時にスクールバスを運行します。
- 古河・結城方面および豊生方面からは富田キャンパスと本校舎へ登下校時にスクールバスを運行します。

〒329-4214 栃木県足利市多田木町1067
TEL.0284-91-2633



白鷲大学足利高等学校本校舎

- JR足利駅南口より徒歩1分
- 東武線足利駅より徒歩10分

〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2
TEL.0284-41-0890(代)

関東大会

インターハイへ向けて
8部12種目 115名が出場

ボクシング部

稲元君、小倉さんが優勝



優勝した小倉さん(左)と稲元君(右)

第57回関東高等学校ボクシング大会が6月5日～6月8日、甲府市緑が丘スポーツ公園体育館で開

催され、フライ級で普2の1稲元純平君(行田西中)、バンタム級で普3の4中村澤司君(大泉北中)、ライト級で普3の3須藤大志君(古河三中)、女子ライトフライ級で普1の4酒井遥さん(鴻巣吹上中)、女子フライ級で普2の2小倉あずささん(赤見中)の5名が出場しました。稲元君は、今年3月の全国選抜大会準優勝の実力者で、落ち着いた動き、危なげない試合運びで優勝し、最優秀賞を受賞しました。須藤君は、決勝戦で惜しくも敗れてしまい準優勝でした。中村君も接戦を制することが出来ずに準決勝で敗れ、3



関東大会に出場したボクシング部員

位となりました。女子は、今大会が第1回大会で、小倉さんは負け

陸上競技部

浅子君、400Mハードル北関東チャンプに輝く！

6月19日～22日、山梨県甲府市・中銀スタジアムにおいて関東高校陸上競技大会が開催されました。本校からは県予選会を勝ち抜いた過去最高となる総勢41名が出場しました。この大会は全国高校総体(インターハイ)の予選も兼ねており、たとえ県大会優勝者であっても、北関東地区で上位6位ないし4位以内に入らなければ、全国への切符を手中にすることができません。そうした狭き門に彼

らが挑みましたが、今回は男女ともリレー種目が有望視されており、10年ぶりにインターハイ進出を狙いま



関東大会出場を果たした陸上部員

したが、女子リレーはレース中に負傷するというアクシデントなどもあり、あえなく敗退。全体の雰囲気は暗雲がちこめました。男子短距離のエース普3の3浅子隆一君(佐野北中)が400メートルハードルで見事優勝を果たすと、上位4位までしか本戦へ進めない厳しい種目の5000メートル競歩で、普3の4高橋悠太君(田沼西中)が目撃だった3位に入る健闘を見せ、それぞれ全国大会出場を決めました。

柔道部

敗戦を糧に、成長を遂げた関東大会

今大会は出場者全員が入賞し、部員の自信にも繋がりました。さらには上の目標を掲げ、日々精進していきます。

6月6日・7日、茨城県武道館で行われた第63回関東高等学校柔道大会に団体戦と、個人戦で2名が出場しました。レベルの高い精鋭者達が集う中で本校選手は健闘するも、団体戦・個人戦ともに初戦敗退となりました。

今大会の敗戦で見出した課題点を修正し、インターハイでは良い



関東大会団体戦出場メンバー

出場メンバー

- 普3の1 川鍋 真吾(定利一中)
- 普3の3 佐俣 楓(相生中)
- 普3の3 宮川 拓也(八戸湊中)
- 文3の2 薄井 裕太(岩舟中)
- 普2の2 強矢 章友(秩父一中)
- 普2の3 菊池 優充(定利一中)
- 文2の3 小宮 太一(協和中)
- 個人戦
- 文3の1 河村 貴文(真岡中)
- 普2の1 長島 立弥(定利一中)

体操部

男女ともに団体出場

結果を出せるよう、日々精進していきます。

6月5日～7日にかけて神奈川県立体育センターで行われた関東大会に出場しました。

関東各都県の精鋭たちが集う大会だけに非常に高度な技術が要求されましたが、選手たちは平常心を保ち、毎日の練習成果を十分に発揮することができました。

これからも、安定性のある演技を目指し、日々鍛錬を怠ることはありません。部員一同精進していこうと思



関東大会に出場した体操部員

出場メンバー

- 文3の2 渡邊 貴史(小山三中)
- 普3の1 大室弘太郎(間々田中)
- 文3の3 青木 柗哉(駒西中)
- 文3の1 長 琴音(定利北中)
- 文3の1 齋藤 菜摘(大泉西中)
- 文3の2 金子 菜摘(佐野北中)
- 文3の2 針谷 泉希(佐野北中)
- 文3の2 鈴木里佳子(壬生中)

水泳部

インターハイを目指して

7月24日、26日、東京都の東京辰巳国際水泳場にて、第66回関東高等学校選手権水泳競技大会兼第83回日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会が開催されました。今大会で標準記録を突破すると、インターハイの出場権を得ることができました。



関東大会に出場した水泳部員

本校からは、インターハイを目指して22名が出場しました。全員的心を一つにして戦った結果、文2の1塩島広規君（赤見中）が200メートルバタフライで、文1の3細澤知弘君（小山中）が50メートル自由形で、文1の4高村光希君（明治中）が200メートル背泳ぎで、塩島君、細澤君、高村君、文1の3菊地秀幸君（毛野中）が400メートルメドレーリレーでインターハイの標準記録を突破し、出場権を獲得しました。部員たちにとっては初めてのイン

ターハイですが、関東大会同様、全員の心一つにして、悔いのないレースをして欲しいです。

関東大会では、一人ひとりが今力を発揮し、ベストを尽くしましたが、チームとしての課題も見えた大会となりました。この経験を生かし、それぞれが目標に向かって努力し、チームの成長へとつながるように頑張っていきたいと思います。

女子ソフトテニス部

団体戦ベスト8入り

6月5日、7日、前橋総合運動場で平成27年度関東高等学校ソフトテニス大会が行われました。県予選を優勝で飾った団体戦のほかに、個人戦でも7ペアが出場しました。

団体戦はシードのため、2回戦からの登場となりました。1回戦を勝ち上がったのは昨年の関東大会団体戦優勝校である昭和学院高校（千葉）でしたが、本校の選手たちは自分たちのリズムで試合を作り、2-1で勝ち、準々決勝進出を決めました。

準々決勝の千代田女学園高校（東京都）戦では、1番を取ることはできませんでした。相手のペア2・3番の思い切りのよいプレーから流れを引き戻すことができず、1-2で負けてしまいベスト8。第5位入賞となりました。

今大会の反省を生かして、目標であるインターハイでも入賞を目指したいと思います。

出場メンバー

- 普3の2 井藤 恵理（佐野城東中）
- 普3の1 齋藤 由花（杉戸中）
- 普3の1 村上 希望（妻沼東中）
- 普2の2 久我奈々子（西郷二中）
- 普3の4 津久井美保（黒磯中）
- 普3の4 稲村 真奈（協和中）
- 普3の3 松本 采香（黒磯北中）
- 普1の1 酒井 香乃（杉戸中）
- 文1の1 高橋のそみ（玉造中）
- 文3の2 大根田彩奈（芳賀中）
- 普2の1 大久保瑞希（千代田中）
- 普2の4 熊谷 亜蓮（須賀川三中）
- 総2の3 松葉 葵（山辺中）
- 普2の3 齋藤 妃那（大間々中）



開会式での選手たち

男子ソフトボール部

上位大会、勝を目指して

6月6日、7日、神奈川県小田原市の酒匂川スポーツ広場ソフトボール場において第41回関東高等学校男子ソフトボール大会が行われました。今年度は部員が14名と



関東大会に出場した選手たち

決して多くはありませんが、関東大会以上の上位大会での一勝を目指して日々、必死に練習に取り組んでいます。

1回戦の相手は群馬県の第二代表、高崎東高等学校でした。我がチームは主将の進3の5松本洵君（太田城東中）、投手の進3の3井上賢吾君（小山城南中）を主軸とした内野中心の守りのチームですが、激戦の群馬県で勝ち抜いてきた高崎東の打線には通用せず、2本の本塁打含む9得点を許しました。打撃面では松本君のタイムリーヒットなどで一矢報いはしましたが、2得点に押さえられ、2対9、五回コールド負けという厳しい結果となりました。しかし、我々にとってはここで終わりでなくこれから本番です。今回の試合を無駄にしないように練習を続け、必ずインターハイへの出場権を勝ち取ります。

ウェイトリフティング

夏に向けて確かな手ごたえ

6月6日、7日の2日間にわたり、横浜市磯子スポーツセンターにおいて、関東高等学校ウェイトリフティング競技大会が開催され、85kg級に普3の4戸田樹君（乙女中）が出場しました。

ウェイトリフティング競技は各階級ともスナッチとC&ジャークの2種目それぞれのベスト重量と合計重量（トータル）を競います。今大会の戸田君はスナッチで85kg、8位と振るいませんでしたが、C&ジャークでは、122kgに成功し4位となり、トータル207kgで、5位入賞を果たしました。戸田君にとって今大会は、1月の関東選抜大会に続く二度目の県外大会でした。記録は自己ベストとは言えませんが、次の大会でのベスト重量更新に向け、確かな手ごたえを得た様子でした。夏の大会での活躍が期待されます。



スナッチ85kgに成功した戸田君

2015君が創る 近畿総体

— 風になれ 今青春が走り出す —

2015滋賀びわこ総文祭

— 翔びたとう 創造の翼で くらめく湖から —

柔道部 十数年ぶりの団体戦入賞

8月8日～12日にかけて、天理大学柚之内第一体育館にて、第64回全国高等学校総合体育大会柔道競技大会が開催されました。本校からは団体戦で6名、個人戦で3名が出場しました。



団体戦では初戦から副主将が脱臼をするなど、アクシデントに見舞われましたが、全員が粘り強く戦い、十数年ぶりの5位入賞となりました。

個人戦では春の高校選手権、無差別級で優勝の普3の1太田彪雅君（足利一中）が万全の状態の本戦に臨みましたが、5位入賞と悔しい結果に終わりました。

個人戦出場選手のうち2名は、

- 出場メンバー —
- 普3の1 太田 彪雅（足利一中）
 - 普3の2 大井 雄弥（白根一中）
 - 普3の3 佐保 楓（相生中）
 - 普3の1 河村 貴文（真岡中）
 - 普3の2 薄井 裕太（岩舟中）
 - 普2の1 長島 立弥（足利一中）
 - 普2の2 釜石 康太（八戸湊中）

団体本戦にも出場します。大舞台での経験を生かした活躍が期待されます。

女子ソフトテニス部 初のベスト8入り

8月1日～4日、全国高校総体ソフトテニス競技（女子）が奈良県立橿原公苑明日香庭球場で行われ、団体戦で初のベスト8入りを果たしました。

団体戦の1回戦は太子高校（兵庫県）に3-0で勝ち、2回戦の相手は昨年、選抜・インターハイ・国体で優勝を遂げた三重高校（三重県）。ポイントを取り合つて、三番勝負で0-3とされ、あとのない状況になりましたが、ここから粘って4-3で逆転しました。ベスト8を懸けた3回戦の相手は佐賀清和高校（佐賀県）。ここでも三番勝負を4-2で勝つて、初のベスト8入りを果たし、第5位入賞となりました。あと1点が取れずベスト8入りを逃した昨年



団体戦を戦う選手と応援するメンバー

の夏の雪辱を果たすことができました。

- 出場メンバー —
- 普3の2 井腰 恵理（佐野東中）
 - 普3の1 齋藤 由花（杉戸中）
 - 普3の1 村上 希望（妻沼東中）
 - 普2の2 久我奈々子（西郷二中）
 - 普3の4 津久井美保（黒磯中）
 - 普3の3 松村 真奈（協和中）
 - 普2の3 稲葉 葵（山辺中）
 - 普1の1 酒井 香乃（杉戸中）

5年連続のインターハイ出場

7月28日～8月2日、和歌山県和歌山市紀三井寺公園陸上競技場において、全国高校総体陸上競技大会が行われました。



左から一番目1レーンが浅子君

本校からは、男子400mハードルに普3の3浅子隆一君（佐野北中）、男子500

0m競歩に普3の4高橋悠太君（田沼西中）の2名が出場しました。

浅子君は、北関東チャンピオンとして全国大会に臨みましたが、レーンの不運などもあり、持っている力を発揮することができませんでした。また、高橋くんも初めての全国大会ということもあり、

緊張からか実力を発揮することができませんでした。二人とも国体に出場予定ですので、今回の経験を生かして活躍してもらいたいと思います。

ボクシング部 競り勝つことの難しさ

7月27日～8月3日、全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会第69回全国高等学校ボクシング選手権大会が、兵庫県立総合体育館で開催されました。本校からは、普2の1稲元純平君（行田西中）がフライ級で2年連続出場を果たしました。今年度は、全国選抜2位、関東大会優勝、そして、最優秀選手賞を受賞しており、今大会でも上位入賞が期待されましたが、3回戦敗退という結果になってしまいました。

稲元君には、この結果を真摯に受け止め、今後の競技に生かしてほしいと思います。選手たちが、日々前進、日々努力を怠らず、新たな目標に邁進してくれることを期待します。



2年連続出場の稲元君

男子ソフトボール部 上位大会、一勝を目指して

8月8日～12日、滋賀県守山市の守山市民球場において全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会が行われました。我がソフトボール部は全国大会での一勝を



円陣を組むメンバー

目標に日々、練習に取り組んできました。

1回戦の相手は宮城県代表、白石工業高等学校でした。我がチームは万全を期してエースの進3の3井上賢吾君（小山城南中）にマウンドを託し、主将の進3の5松本海君（太田城東中）を中心とする堅い内野の守りを信じて試合に臨みました。相手は東北勢で三番手のチームでしたが、初回から効率よく得点され、五回表の時点で17失点を許してしまいました。五回裏に1得点はしましたが、五回コールド負けとなりました。春の選抜大会、関東大会、インターハ

イと栃木県第一代表として導いてくれた3年生はこれで引退ですが、全国一勝の夢は後輩達が成し遂げるはずですよ。今後とも応援よろしくお願いします。

水泳部 水飛沫をあげて

8月17日～20日、京都府京都市の京都アクアリーナにおいて、平成27年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会兼第83回日本高等学校選手権水泳競技大会が開催されました。

本校からは、文2の1塩島広規君（赤見中）が200mバタフライ



全国大会出場の水泳部員

イ、文1の3細澤知弘君（小山中）が50m自由形、文1の4高村

光希君（明治中）が200m背泳ぎ、そしてこの3名に平泳ぎの文1の3菊地秀幸君（毛野中）を加えて、400mメドレーリレーに

出場しました。全選手が初出場で、緊張感の中ベスト記録を目標に力泳をしましたが、決勝進出はなりませんでしたが、今大会での経験を教訓として、日々努力を続け、来年の決勝進出を期待します。

ウェイトリフティング競技 決勝で5位ランクアップの健闘

8月1日～5日の5日間にわたり、兵庫県明石市の明石中央体育会館において、全国高等学校総合体育大会ウェイトリフティング競技大会が開催され、85kg級に普3の4戸田君（乙女中）が出場しました。

バントワリリング部の2・3年生は、第39回全国高等学校総合文化祭（びわこ総文）に出場しました。7月28日、琵琶湖畔でのバントは雷雨のため中止になってしまいました。30日のバントワリリング部門では、アラビア風の衣装に身を包んで、演技をしました。今年の演技タイトルは「一夜一夜物語」。県内5校のバントワリリング部で2月から毎月2回の

バントワリリング部 第39回全国高等学校総合文化祭

合同練習や合宿を重ねて来ました。チームバントに求められる「揃える」ことに苦勞しましたが、本番では学校の壁を越え、気持ちを一つにして演技をすることができま



衣装を身につけポーズを決める部員たち

した。この経験を自分たちのチームに生かせるよう、今後更に努力します。

情報処理部 4年ぶり二度目の全国大会出場

7月31日～8月1日、第62回全国高等学校ワープロ競技大会が東京都江東区にある都立第三商業高等学校で行われ、総2の1吉澤優太君（足利二中）が、栃木県の代表として個人戦に出場しました。この競技は10分間に入力した文字数を競うもので、吉澤君は県の予選会で1384文字を入力して全国大会出場を決めました。全国大会では緊張のためか、1332文字と予選を下回る結果となり、全



真剣な表情で大会に臨む吉澤君

出場者212名中167位の成績となりました。競技を終えた吉澤君はこの経験を生かして来年度も頑張りたいと意欲を燃やしていました。

また、情報処理部は昨年の新人戦で団体第3位、先の全国大会県予選においても団体第2位を獲得しています。来年こそは団体での全国大会出場を目指して、部員全員で毎日練習に励んでいきます。



スナッチ88kgに成功した戸田君

戸田君にとっては三度目の県外大会であり、初めての全国大会でしたが、落ち着いて競技に臨み、6月の関東大会での経験を生かし、スナッチ93kg、C&Jジャーク123kg、トータルでは、216kgで、自己ベストを1kg更新しました。予選では、同階級の出場者43名のうち24位でしたが、最終的には19位まで順位を上げる健闘でした。

本校舎

Topics

【出来事や話題の紹介】

ふるさと学習

『史跡足利學校と錢阿寺を巡る』

6月3日、総合選択コース1年生のふるさと学習が実施されました。学年を2班に分けて、足利市内の探索と生涯学習センターにおける体験講座を受講しました。

今年の体験講座では、皮工芸でフクロウのキーホルダー作り、ステンドグラス体験、染色うちわ作り、種をつかったクラフト体験を行いました。生徒たちは慣れないながらも真剣な表情で、受講していました。

前日からの激しい雨のため、行

学習合宿

7月28日、30日、志賀高原ホテル一乃瀬にて、文理進学コースの学習合宿が実施されました。猛暑



熱心に授業に臨む生徒たち

程を短縮して行った市内探索でしたが足利學校と錢阿寺をじっくりと見学し、これから学校生活を送る足利の歴史と文化に触れることが出来ました。

体験講座と市内探索を通して、新しい友人との関係を深めること



皮工芸の様子

の続く足利を離れ、雄大な自然の中で、山々からの心地よい涼風を感じながら、集中して学習ができました。

この合宿では、英語・国語・数学を中心に、基礎学力の向上と、受験学習方法の習得を目指し、終日密度の高い学習がなされました。生徒たちは朝8時から夜遅くまで長時間にわたる授業と自習に真剣に取り組み、自信を持つことができました。

本格的な夏休みに向けて、今回の合宿で身に付けた学習習慣、特に自主学習の習慣を今後も継続し、

ができたことも、このふるさと学習の収穫の一つでした。

宇都宮ビジネス電子専門学校見学

7月8日に、総合選択コース2年生が、宇都宮ビジネス電子専門学校に見学・体験に行きました。

専門学校でバスを用意して頂き、各クラスごとに宇都宮へ向かいました。新クラスで初めて、全員揃っての校外学習に、生徒たちはわくわくした様子でバスに乗り込んでいました。

到着後まず、専門学校の紹介の映像を見ました。そして、本校出身の在学生から、この専門学校を選んだ理由、将来の夢やその実現のための努力、また、学校生活の

進路実現に向けて、今後の学校生活における更なる飛躍を期待したいと思います。

新入生 歓迎球技大会

5月26日、強い日差しの中、新入生歓迎球技大会が開催されました。今年度は、3月に完成した新



真剣勝負の生徒たち



受講の様子

様子などの話を聞きました。その後、事前に選択していた体験講座を、午前と午後につづつ体験しました。生徒たちは、それぞれ自分の興味のある講座を選択し、楽しみながら真剣に取り組んでいました。

生徒たちにとって、今回の専門学校見学は今後の進路について考える良い契機となり、とても貴重な体験になったようです。

体育館や第二体育館、校庭の3か所に分かれて試合を行いました。試合は男女学年別で実施され、どの会場でも白熱したゲームが繰り広げられ、ボールを投げたり捕ったりする度に、歓声や応援の声

が響き渡っていました。試合後は、勝敗に関わらずチームやクラスが団結した様子が見受けられました。

ドッジボール		優	勝
1年	男子	普通1-2	
	女子	普通1-2	
2年	男子	普通2-4(A)	
	女子	文理2-2	
3年	男子	普通3-1	
	女子	文理合併B	

平成27年度新入生歓迎球技大会結果

商業コース 検定合格状況

商業コースの生徒たちは、検定試験にチャレンジし、資格を取得することを大きな目標として、日頃から授業に取り組んでいます。特に1年生の簿記検定では、初めての検定試験のため不安の色が隠せない様子でしたが、放課後の補習で多くの問題に取り組んだ結果、全員が合格できました。生徒たちは、「やればできる」という自信

を持ったようで、今後の検定試験の多数合格が期待できそうです。1学期の合格状況は表の通りです。また、栃木県ワープロ競技大会では、日頃の授業で練習した成果が発揮され、団体で見事2位に入賞することができました。メンバーの一人は全国大会の個人部門への出場権を獲得しました。全国でも実力を発揮して入賞することが期待されます。

平成27年度1学期検定試験 合格状況		1級	2級	3級	4級
全商ビジネス実務検定(ワープロ)	人数	1	16	36	72
	合格率	4%	36%	50%	90%
全商簿記検定	人数	合計1	4	12	
	合格率		25%	31%	24%
全経簿記検定	人数				39
	合格率				100%
全経電卓検定	人数	1	6	7	23
	合格率	17%	30%	35%	61%

富田キャンパスピックス

7月27日～29日、1・2年生は志賀高原、3年生は水上で、毎年恒例の学習合宿を実施しました。生徒たちの感想を紹介します。

初めての学習合宿

特選①の1 堀越 ほか(多々良中)



学習合宿に参加する前は、自分が夏の時程表通りに勉強できるか不安がありました。しかし、いざ学習が始まってみると、休憩時間に友人と会話することでよい息抜きができ、一日10時間を超える学習時間はあまり苦になりませんでした。先生方の授業は、丁寧でわかりやすく、楽しみながら学習することができました。先生方にサポートしてもらいながら、充実した3日間を過ごすことができました。

この合宿を通して、粘り強く頑張ることの大切さと勉強することの大切さを身に染みて感じました。これを機に、これまでの学習を見直し、毎日の学習習慣を確立させていきたいです。



自分に勝つこと

特選②の1 平澤 千沙乃(足利二中)



私たちにとって2回目となる学習合宿は、本来の目的である学習習慣の定着はもちろんですが、友人との絆を深めることも出来ました。今回の合宿は1年時よりも日数が少ないため、楽だろうと思っていました。しかし、いざ始まってみると、やはり長時間におよぶ学習はとても大変で、先生が日頃からおっしゃっていた「自分に勝

スピーチコンテスト ビックリカンカン賞受賞

6月21日に足利市市民会館で行われた第15回青少年英語スピーチコンテストに特選①の2関口颯太君(坂西中)と土屋絳都珠さん(白鷗足利中)、特選②の1橋本紗希さん(白鷗足利中)、進②の5穴山優華さん(足利一中)の4名が出場しました。出場者たちはリンカーンのゲティスバーグの演説を英語で、「国際交流〜今私にできること」というテーマで各自



講師による授業

つことが大事」という言葉の意味が理解できました。どうしても疲れから気が緩んでしまいそうになりましたが、同じように合宿に参加し、集中して勉強に取り組んでいる友人の姿を見ると、私も頑張らないといけないと思えました。友人とこのような思いを共有し、



緊張しながらも堂々と発表する関口君

の取り組みや将来の夢などを日本語でスピーチしました。入賞はできませんでしたが、関口君が特別賞としてビックリカンカン賞を受賞しました。将来は国際交流の懸け橋としての活躍が期待されます。

この空に誓う

進③の2 寶利 和美(小山中)



ごろごろとスーツケースの音が夏の爽やかな空に響きます。大学受験が本格化してきた7月の末、高校生活三度目の学習合宿に10

一緒に頑張ることができたことで、今まで以上に友人との絆が深まったように思います。合宿では大変なこともありましたが、友人の存在で乗り越えることが出来ました。これからも来年度受験生になるという自覚をしっかり持ち、勉強に励んでいきたいと思えます。

マディソン・カントリー デイスクールから来校

4月20日から約2カ月間、アメリカの中西部の最北に位置するウイスクンシン州のマディソン・カントリー・デイ・スクールからドリユー・ダウニー君が日本語や文化を学ぶために本校にやってきました。日本語を勉強するきっかけとなったのは漫画と、ジブリ映画「魔女の宅急便」だったそうです。滞在当初はアメリカと日本の授業形式や文化の違いに戸惑うこ



ESS同好会と一緒に

ともあったようにですが、すぐに慣れて、積極的に授業に取り組みんでいる姿がとても印象的でした。私たちドリユー君から多くのことを学び、とても有意義な時間を過ごすことができました。

8名の生徒が参加しました。今回は代ゼミの先生による講義ということで、非常に新鮮であると同時に先生方の熱意を感じました。初日の授業は私の苦手な数学が主でしたが、講師の先生は笑いを誘う喋りを交えて解説をしてくださり、二日目の英語の授業では細かく文法や単語の解説をしてくださいました。最終日は私の好きな国語で、現代文と古典の画期的な説解法を伝授してくださいました。特に、心理学等を使って漢文の問題を裏から読み解く「センタオタク」の中国語の先生の話は、大変興味深いものでした。合宿を終えた今、私はこの3日間を価値あるものにすべく再出発しました。碧く高い空の下、私達の戦いはまだ始まったばかりです。

スーパー・サイエンス・ハイスクール活動報告

植物染めの研究

総合選択コースでは「植物染めの研究」を行っています。この研究も今年で3年目を迎えました。今年度は、藍を種子から栽培し、生葉染めを実施します。また、発酵させた藍と生葉の成分について調べ、繊維への染色度を計算し、実験したデータを分析していきます。

足利市の伝統的産業である藍染に興味を持った研究班は、これまでに足利伝承館で藍染の技術を学び、益子町にある紺屋の目下田藍染工房で、藍建の知識を習得しました。その他にも伝承館の島田敏子先生の指導のもと、いろいろな方面から、染色織物に関する知識と技術を身につけてきました。



藍染の様子

この研究の成果は、2月の生徒研究発表会で発表します。

6月生徒研究発表会

6月25日にシーガルホールでSSH生徒研究発表会が開催され



宇都宮大学 松田教授による講評

< 研究発表一覧 >

- (1) 分光解析によるアントシアニンの色変化についての研究
- (2) プラナリアの個体差を調べよう
- (3) 生物岩としてのチャートから過去の地球環境を読み取る
- (4) フクロウの生態について
- (5) エッキーから考える液状化現象
- (6) これからのまちのすがた
～私たちが考える足利市公共施設再整備計画～
- (7) ユニバーサルデザインの作成
- (8) サリチル酸メチルの抗菌活性(海外研修)
- (9) 幹細胞(海外研修)
- (10) 糖の研究
- (11) 衝撃吸収物質の探求
- (12) 水陸両用車の開発
- (13) 乳酸菌

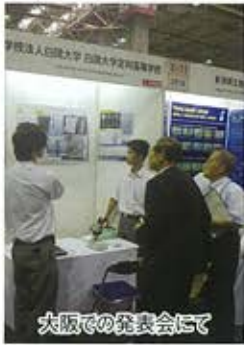
ました。この発表会では、今後富田キャンパスで課題研究に取り組む2年生に向けて、3年生が約1年間の課題研究の成果を発表しました。各グループ7分程度の発表でしたが、3年生たちは自信を持って発表し、質問に対しても堂々と対応することができました。その姿は、2年生のみならず来賓や保護者の方々に好印象を与えたよ

生徒研究発表会に参加

8月5・6日に化石の課題研究をしている3年生のグループが、大阪市のインテックス大阪で行われたSSH生徒研究発表会に参加しました。この大会では、日本と海外の高校、関連機関を合わせた256組が参加し、これまでの研究成果を披露しました。

本校は、佐野市にある唐沢山で見つかった放散虫とよばれるプランクトン化石の調査から、地層が堆積した年代や当時の環境を復元

するという内容でポスター発表を行いました。ブースに顕微鏡を用意して、本物の放散虫化石を見られるよう工夫しました。他校の発表にも、今後の参考になる高校生らしい着眼点や工夫が見られ、とても有意義な2日間となりました。



大阪での発表会にて

群馬大学出張公演

6月2日・3日に富田校舎の1年生を対象とした、群馬大学の先生方による出張講演が行われました。

6月2日には理工学部の篠塚和夫先生に「遺伝子のDNA」という演題で、遺伝子についての基礎的なことから人工DNAを用いた新薬の開発まで、実験を交えながらお話をいただきました。6月3日には医学部の林邦彦先生が、

「疫学」という演題で疫学の歴史から、婦人科疾病に関する先生ご自身の研究内容までお話をしてくださいました。科学の最先端の話聞いたことで、多くの生徒たちが感銘を受けたいと思います。



群馬大学 林教授による講演

SSH科学体験講座 宇都宮大学訪問

7月6日・7日に富田校舎の1年生が宇都宮大学を訪問しました。大学内の施設見学と、模擬講義を受講し、大変充実した時間となりました。ゲノミクス棟では、遺伝子を組み換えたことにより色が変わったメダカや、高性能な顕微鏡など、普段は目にできないものをたくさん見学しました。模擬講義では宇都宮大学で行われている様々な研究について聴講し、生徒たちはとても興味を示していま



ミシコを観察

今回の宇都宮大学見学での経験を今後の進路選択に役立ててほしいと思います。



白鷗大学だより

PLUS ULTRA —さらに向こうへ。

教員採用試験合格者数4年間で4倍！ 就職率では過去最高を記録

2014年度の教員採用試験合格者（臨探除く）は123人で、10年度の31人から約4倍となりました。14年度の合格者は現役47人、既卒76人、小学校教諭が105人、中学校教諭が15人（保健体育6人、英語7人、社会2人）、特別支援学校教諭が3人でした。また幼稚園教諭49人、保育士43人が採用となりました。仁平義明教育学部長は「単に教員採用試験の合格者を増やすだけでなく、本学が目指すグローバルな視点を持ち、教養ある教員の育成も同時にしなければならぬ」と話しています。

2014年度の卒業生全体に占める就職者の割合は83・4%と全国平均70・3%を大きく上回りました。（実就職率ランキング卒業

者数1000人以上で全国96位・サンデー毎日）また就職希望者に占める就職者の割合は96・2%と、全国平均96・7%にはわずかに届きませんでした。昨年同様、4%を大きく上回り、過去最高となりました。小室正男進路指導部長は「就職率の向上は、教職員一体となって、支援した結果です。」



2018年に経営学部を移転

2018年東キャンパスの隣接地に新校舎を建設し、経営学部の教育研究拠点を移転します。新校舎は、東キャンパスに隣接する大学所有の駐車場に建設する予定です。地上7階建てで、教室のほか、地上7階建てで、教室のほか、同窓会（同窓会組織）事務局やメディアスタジオ、運動ができるアクティブスペースも設置し、東キャンパスにある既存の図書館を

移設し、機能強化を図ります。ICT環境整備に加え、アクティブラーニングに対応したグループ学習室などを充実させるほか、低層階には、学食などの学生が集う環境も整えます。

今年度中に建設計画をまとめ、来春には着工し、2018年春の完成を目指します。また本キャンパスも、耐震工事を要する施設を



完成予想図

取り壊し、再整備する方向です。現在東キャンパスでは、法学部の2年生から4年生、大学院生が

女子バスケット林選手 ～今大会最年少で選出～ ユニバーシアード日本代表に

7月4日（13日、韓国・光州で開催された第28回ユニバーシアード競技大会の日本代表選手に女子バスケットボール部の林咲希選手（教育学部スポーツ健康専攻3年）が今大会最年少で選出されました。また今年3月、本学を卒業した鶴見彩選手（現・日立ハイテクグループ）も同代表に選ばれ、本学の佐藤智信監督が同代表の総括としてチームを牽引

今後も9人のアドバイザーのキャリアを生かし、キメ細かな指導・フォローを徹底し、万全の体制で学生の就職活動を支援して行きます」と話しています。



1000人程度学んでいます。移転後は、全学生の6割にあたる約2800人が増える見通しです。

林選手は、福岡県の精華女子高校から本学に進学。2013年の国体優勝、2014年の関東大学新人戦の初優勝や全日本大学選手権優勝にも貢献しています。日本代表チームは世界第4位とメダルには届きませんでした。準決勝で前回優勝のアメリカを相手に前半はリードを奪い、終始互角の戦いを見せるなど世界に存在感をアピールしました。



活躍する林選手

PTAだより

新校舎完成

PTA会長 西場 伸一



PTA会員の皆様、日頃のPTA活動に多大なるご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。

今年度も588名の新会員の皆様をお迎えし、前半の重要行事でありますPTA総会、支部懇談会、研修旅行、そしてOB総会を無事終了する事ができました。これらひとえに会員の皆様のご協力と、各支部の役員の皆様のご尽力の賜物と、改めて感謝申し上げます。

創立100周年の大事な節目を迎え、新校舎・新体育館が完成し、4月より生徒の皆さんも新しい環境で、勉学に部活動にがんばっております。現在は旧校舎の取り壊しとプール棟の建設が進められており、全てが完成する年度末には両毛地区一番の白鷗大学足利高等学校が誕生いたします。このような環境を整えていただきました、理事長先生を初め教職員の皆様に感謝申し上げます。同時に、私達PTAと致しましては私学教育の特徴や、学校の教育方針を理解しお子様達の将来の夢がかなえられますよう活動して行きたいと思っております。

ています。しかしながら、社会環境や生活環境は大きく変化し、価値観も多様化する現代では、お子様たちを取り巻く状況への対応が難しくなっているのではないかと考えます。毎日忙しく過ごされている保護者の皆様かとは思いますが、学校、そして保護者同士の連携を密にさせていただき、学校とPTAと共に歩んで頂ければ大変ありがたいことと思っております。最後にこれからもPTA活動に多大なる御協力を頂けますようお願い申し上げます。

一日体験学習

8月29日・30日に、本校舎・富田キャンパスで一日体験学習が実施されました。

ALT ジェニー先生、新たな夢に向かって出発



Hello everyone! あの日、学校に来る前に織姫神社で朝日を見ながら、久しぶりにSigur Ros というバンドの曲を聴きました。あの朝日を見たとき、世界の他のどの場所にも居たくはありませんでした。自分がここに存在していることを、確信しました。人間はどのくらい長く生きるかではなくて、いかに生きるかが問題です。Life is beautiful!

私はこの日だけではなく、どんな時でもこういう気持ちでいます。本当に日本が大好き。足利が大好き。白鷗が大好き。世界で他の場所に居たくはありませんでした。白鷗で英語を教えることができるチャンスに巡り会えて、とても嬉しかったです。皆さんが精神的なサポーターとしてまた友達としてここにいてくれたことは、私の日本での生活を10倍も良くしてくれました。今までありがとうございます。絶対に忘れません! PEACE!

ジェニー先生は5年間ALTとして、本校舎、富田校舎、中等部、幼稚園で楽しくバワフルに英語を教えてくださいました。その明るく、親しみやすいキャラクターでどこにいても人気者でした。ジェニー先生の会話の授業を毎週楽しみにしていたみなさんも多いと思います。今後は専門であるデザイン分野でのお仕事をスタートされるそうです。活躍をお祈りしています!

中学生を対象にした模擬授業では、本校舎、富田キャンパスそれぞれの特色ある講座が数多く設けられました。趣向を凝らした授業が展開され、中学生に楽しみなながら高校での学習活動の様子を知ってもらうことができました。

生徒会が中心となって行った学校生活の説明では、充実した行事や部活動の様子に、多くの中学生が高校生活の希望や期待を膨らませていたようでした。



「針金で書道」の実験の様子

今年はいにくの天気の中での開催となりましたが、たくさんの中學生と保護者が参加してください、本校への関心の高さが実感できた一日体験学習となりました。

予告 白鷗祭開催

本校舎では、10月30・31日に、3年に一度の白鷗祭が開催されます。今年も創立100周年の佳節にあたり、新たに整備された施設を利用して実施されます。今回のテーマは、文3の3服部真由子さん(大谷中)の「PLUS ULTRA

One hundredth anniversary service「新たな時代を我らの手で」に決定しました。今まで築き上げてきた白鷗の歴史の節目に、生徒自身がより主体的に取り組んでいこうとの思いが込められています。メモリアル白鷗祭にすべく、生徒・教職員一丸となって進めてまいります。

一般公開は、31日10時~15時です。多くの方のご来場をお待ちしております。

編集後記

新国立競技場やオリンピックプレムのデザインが白紙撤回になってしまいました。新たに何かを創造することは、混沌からのスタートであり、大きなエネルギーが必要です。しかし、軌道修正することにはさらに大きな精神力が要ります。

本校も創立100周年。本校舎の改築に始まり「新」に伴う創造の余地は数知れません。温故知新・一進一退、でもPLUS ULTRAです。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございます。
編集・校報委員会
発行・白鷗大学足利高等学校
足利市伊勢南町三の二
0284-41-0890
制作・(有)コエイプロセス
発行日・平成27年9月30日